

東北6県で初の総合ワクチンセンター

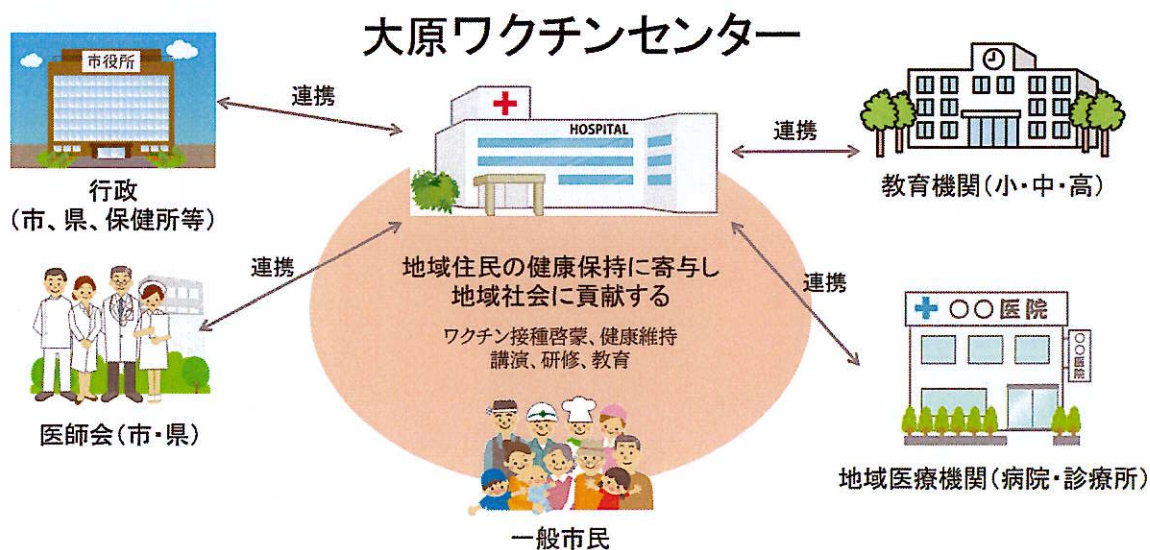
2024年5月20日
新規オープン

大原ワクチンセンター開設のご案内

当財団は、地域包括ケアシステムにおいて、医療保健分野の中核的役割を果たすために、地域の医療機関と連携を密にし、健康予防を含む急性期医療、回復期医療、精神科医療、在宅医療を担っております。

このたび、大原記念財団では「大原ワクチンセンター」を開設し、ワクチン接種の必要性や意義を理解して頂くために、行政・医師会・医療機関・教育機関と連携を図り、地域住民の健康保持に寄与し地域社会に貢献してまいります。

1. 大原ワクチンセンター構想



2. 主な取り組み

- (1) ワクチン接種の啓蒙活動（講演、教育、研修等）
- (2) ワクチン接種の外来相談（月曜日・水曜日、午前中）
- (3) ワクチン接種枠の新設（週合計 33 枠）※成人のみ
- (4) 「带状疱疹ワクチン」や各種ワクチンの接種を行なう

大原総合病院健診予防センター（大原ワクチンセンター）

〒960-8611 福島市上町 6 番 1 号 大原総合病院 3 階

TEL 024-526-0300（代表） FAX 024-523-1799



大原記念財団
OHARA MEMORIAL FOUNDATION

予防接種
のススメ

補助により **半額以下** で接種できるようになりました！

80歳までの成人3人に1人が発症

带状疱疹ワクチン



带状疱疹(たいじょうほうしん) とは

带状疱疹は、身体の痛みや水ぶくれを伴う疾患で、過去に水ぼうそう(水痘)に罹患した人が疲労や病気、加齢等で免疫力が下がった時に発症します。

罹患者が増加傾向にあることから50歳以上の方への推奨ワクチンとなっており、令和7年度からは新たに定期接種として補助が出ることになりました。

带状疱疹の症状には個人差がありますが、はじめに神経痛が起こります。痛みは、皮膚の違和感やかゆみ、しびれとして感じる程度から、ピリピリ、ズキズキ、チクチク、針で刺されたような痛みや、焼けるような痛みまで様々です。その後、水ぶくれを伴う赤い発疹が帯状に現れ、徐々に痛みが強くなり、眠れないほど痛むこともあります。

主に上半身、左右のどちらかにみられ、強い痛みや皮膚の症状は3~4週間ほど続きます。顔や首にできる場合もあります。発症した方の5人に1人は痛みが3か月以上続く、带状疱疹後神経痛に悩まされることとなります。

定期接種 対象年齢 ※65歳以上 5年おき

令和7年度中に 65歳・70歳・75歳・80歳・
85歳・90歳・95歳・100歳~ になる方

2ヵ月の間隔をおいて**2回** のワクチン接種を行います
発症予防効果は**10年以上** 続く、効果の高いワクチンです



料金/1回通常 21,800円 → 定期接種補助で1回 **10,800円** (シングリックス)
＜福島市民の場合＞



一般財団法人 大原記念財団

大原綜合病院

ワクチン接種は 紹介状不要(事前予約制)

大原ワクチンセンター

◆ ワクチン接種に関する お問い合わせ・ご相談・お申し込みは

TEL 024-526-0300(代) (平日9時~16時)

接種日: 月曜日~水曜日 接種時間: 14時~16時